

MACHINE MATE NEWS



花
と
彫
刻

「S-8-20・KAWAGUCHI」岸田克二氏 川口西公園・花と彫刻の広場

彫刻の素材としての鋳鉄は、その肌の持つぬくもり、強さ、素朴さ、
時と共にうつろいゆく変化…等、限らない魅力を持っている。
周囲との調和を考慮しながらも、シンボリックな意味も込めて、鋳物
の良さを生かそうと製作。

NO.500
2012. 1



復活の年



理事長 河村友正

平成24年の新年を迎えあけましておめでとうございます。

新年の冒頭に復活の年と題しました。

昨年は日本の震災が世界で最も悲惨な出来事になってしまいました。同時に人や国においても被害があり世界不況が全世界の経済を低下させ、その中であって日本経済は政治不安もあり我々ものづくり業界の存続まで考えさせられた年でありました。

昨年の後半の円高対策をはじめ日本政府の対応には全く期待が持てませんでした。今年も昨年同様の政権で明けましたのでいち早く先の読める優れた指導者の出現が必須です。そんな中で私が注目せざるを得ない人物が現れました。3年程前に大阪方面で旗揚げし知事になり昨年の秋に突如知事職を辞任し大阪市長選に出馬して見事現職の市長に競り勝ちました。知事になった時点では知名度で当選したタレント知事を期待はしていませんでしたが、今の国政に対して国では出来ないことを地方で改革して国民の賛同を得るといふ本気の姿勢が見えます。楽しみな人物かなと期待していますが、マスコミの扱いが上手すぎて、見えない本質の方が多いのも承知しています。

さて、組合の方に話題を移しますと、新年のマシンメイトニュースが500号記念だとのことで改めて川口機械組合の歴史を知らされました。

また、組合活動においては予定した行事は順調に運営できました。そして、5年振りに海外視察研修を実施し、近年注目されているベトナムの経済情勢と機械工業の実情を見て来ました。

昨年は前半組合員の景気は相当落ち込んでいましたが、後半になって自動車関連の受注が復活しはじめ各方面で忙しくなったとの声が聞かれました。今年は政治、経済、レジャー、全ての面で復活を望みます。

今年の組合活動は、昨年同様に常任理事会による組合活動の企画運営に基づいて2委員会を中心となり組合運営を進めて行きたいと考えております。

また、今年は組合役員改選期にあたりますので、組合の将来を見据えた強力な体制作りを推し進めていきたいと考えております。

日本経済の基盤はものづくりです。今年は組合員195社でのスタートですが、一社一社の優れた技術力を十分に発揮され、今年一年を乗り切ってください。

今年も組合に対しまして一層のご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

年頭のあいさつ



川口市長 岡村幸四郎

新年あけましておめでとうございます。

川口機械工業協同組合の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より市政運営に対しまして格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、国内景気について政府では、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなか、サプライチェーンの立て直しや各種の政策効果などを背景に、景気を持ち直し傾向が続くことが期待される一方で、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、海外景気の為替レートや株価の変動など、景気が下振れするリスクの存在を示しております。

一方、本市では、市内経済の厳しい状態が長期化する中、昨年11月7日に川口機械工業協同組合をはじめ、川口商工会議所、鳩ヶ谷商工会を含む17団体の代表者の皆様のご出席を得て「経済団体との意見交換会」を開催いたしました。席上では、本市の産業界の厳しい経営実態と円高やデフレなどによる先行きへの不安感などが吐露され、私は、改めて市内中小企業の経営環境の厳しさを認識するとともに、こうした声に少しでも応えるため、政府の早急な取り組みを要望すべく「円高是正とデフレ脱却に向けた対策の早期実施及び中小企業の経営安定対策の実施に関する要望書」を川口商工会議所会頭及び鳩ヶ谷商工会会長と私の連名で、昨年11月29日に内閣総理大臣をはじめ関係大臣などへ提出いたしました。

一自治体としての取り組みには限界があるところではありますが、「産業の振興なくしてまちの前進なし」との信念の下、引き続き日本経済の現状や今後の見通しを的確に把握し、本市産業界が活気を取り戻すことができますよう、市として、でき得る限りの対策を講じて参ります。

また、鳩ヶ谷市と合併し、新たな川口市として初めて新年がスタートいたします。強固な行財政基盤の確立と行政能力の向上を期し、58万の市民の皆様と一緒に、埼玉県のリーディングシティたるまちづくりを進めてまいりますとともに、多くの皆さんの献身的な活動が、本市の発展を支えてくださっていることへの感謝を忘れず「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と実感できる「ふるさと川口」の実現のため、そして川口が誇る歴史、文化、伝統、人々の絆を次の世代へつないでいくため、誠心誠意、取り組んで参る所存であります。

結びに、川口機械工業協同組合の益々のご発展と組合員の皆様方のご健勝、ご繁栄を祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

マシンメイト海外視察研修会 “IN ベトナム”

11月19日(土)午前5時組合へ集合し、5時15分出発予定も、参加者22名が定刻前に集まり一路成田へ出発。

首都高を安定走行に入って、“視察団団長”河村理事長から挨拶。添乗員ツアーリストサポートの足立さんから出国手続き等の説明並びに事務局から配布資料の説明があり、首都高の渋滞も無く成田到着し、約6時間の空の旅。

ベトナム最大都市“ホーチミン”に到着後、専用バスにて市内へ向かう。まず一行を出迎えてくれたのは、その暑さ！気温34℃流石に暑い。目に飛び込んで来た交通量にはビックリ、バスの周りは蟻？と思うほどのバイクだらけ…少し気持ち悪い状態で、ただ笑うしかない。ホーチミン市内は人口800万人でバイクが400万台あると言うから、交通ルールはあるものの無視？。信号機も少なく、バイクが平然と十字交差する状況は、日本では有りえない光景を目の当たり。スルーガイドのトゥワンさんいわく、毎年1万人の人が交通事故で亡くなっているとの事…当然？。

最初の見学先<統一会堂>を見学。ベトナム戦争にて、空爆を受けたが修復され作戦本部等の建物全体が現在も保存されている。建物全体は、部屋の扉がそのまま抜け穴に通じるなど近年まで戦争していた爪跡がうかがえました。中央郵便局では、ベトナムの足跡が中国の長年の支配、フランス領、ベトナム戦争と長年の激動で文化が東南アジアだけでなく、ヨーロッパの文化を取り入れたコラボ建造物(ステンドグラス等)で全員感じる事が出来ました。レジェンド・ホテル・サイゴン(5星ホテル)へ移動しチェックイン。夕食は、市内にあるベトナム風？中華料理。やはり大陸続きで中国に接している為でしょう。各テーブルで思い思いに乾杯。長旅の疲れを各々取りながら楽しく歓談し、1日目終了。



(サイゴン統一会堂)

2日目は朝食後、南北に長いベトナムにてホーチミンから空路でフエへ約1時間ちょっとの移動です。世界遺産に指定された、グエン王朝・ティエンムー寺院の見学へと向かいました。フエ空港から市内に専用バスにて移動も、ホーチミンとは少しおもむきが違い、人口もバイクも少なく皆さんホットしたのではないのでしょうか？何しろ交通ルールが無視では怖くて歩けませんから。市内に到着後昼食をレストランにて郷土料理を堪能してフォン川を約8キロ上流までクルーズですが、心がけが悪く生憎の雨模様。ティエンムー寺院とベトナム最後の王宮“グエン朝”は、バス車中からのみの見学になってしまい少し残念。ベトナム中部地区唯一の5つ星ホテルのインベリアルホテルに到着。少し時間をあけて、市内レストランで地元フエ料理を堪能し2日目終了。

3日目の朝食後、昨日の雨模様で見学出来なかった“グエン朝”をシュクロ(自転車の前籠が改造されて人を乗せて走る観光用の乗り物)をチャーターして、宮殿外周14キロを1時間掛けて見学。外周は高さ5m・幅2mの壁で囲まれており、その規模はさすが世界遺産と感動しつつホテルへ向かう。出発時は雨も上がり、見学日和だったはずも、ホテル



(シュクロでグエン朝見学)

まで5分の所で横殴りの大雨で、洋服はびしょ濡れ状態。今回のメインである工場見学の服装で行ってしまったメンバーは、ダナンまでの移動時に…バスで乾かす始末。一路ダナンへ。専用バスで約100キロ程のところに位置する場所へと向かう。日本では100キロだと高速で約1時間も、こちらでは交通事情が悪い関係で、休憩取って約3時間の移動となり、ダナン市内で昼食“郷土料理+ノンアルコール”ダナンは、ホーチミン・ハノイに次いで3番目に工業が盛んな地区、地元鉄鋼企業である“ダナンスチール”を視察。近年、国営会社から株式会社（国30%・民間70%）に変更し、従業員400名で3交替制で24時間稼働し、年間15万トンのスクラップを溶かして、インゴットや鉄板・鉄棒を生産している。原料の多くは輸入に依存しており、国内から40%・海外から60%の比率である。現在は米国・ヨーロッパから調



(ダナンスチール 会議室)

達しているが、以前は日本からも輸入した経験があるとの事。会社の経営方針として2007年～2008年に第1期設備投資、2009年～2015年を第2期設備投資時期として、現在計画を実施中。設備については中国製が多いが、技術力のあるヨーロッパ製か日本製を検討中だが、日本製は高いと酷評が出された。工場内を見学するも、敷地は広く余っており設備投資が可能な状態。数年後に日本を脅

かす様になるのか？見学後、工場入口で集合写真を撮影し、次の見学先であるホワカイン工業団地を訪れる。ここは日系企業が多く“エースコック、マブチモーター等”が広大な敷地を借りて、合併会社によって製造し、世界各国に製品を送っている。人件費が安く現状、都会（ホーチミン・ハノイ）等は、月給20,000～40,000円位にて、地方都市では10,000円位の地域もあり、日本と給与格差は10倍以上ではないでしょうか？見学後、ダナン空港からホーチミンへ戻り、市内レストランでフランス料理を味わいながら、本日の視察先の感想を思い思いに語られていた事と思



います。

4日目、ベトナム戦争の痕跡が数多く保存され、作戦本部が置かれていた“クチ”の見学組とゴルフ組（ベトナムゴルフ&カントリークラブ）に分かれて行動。クチではベトナム軍のゲリラ戦のもの凄さが日本語吹き替えのビデオ上映・米軍の不発弾から火薬を抜き取り、ベトナム軍の手榴弾・地雷に変えて戦った状況・日本の忍者屋敷の様な罟等が展示され、また地下通路の体験出来るそのまますを残すなど、生々しい戦闘が体験出来、クチで昼食を済ませ、ホーチミンに戻りベトナムのアメ横“ベンタン市場”を見学、活気とニオイにダウンした人も出るほど。ゴルフ組と合流しベトナム最後の夜は、サイゴン川でのディナークルーズを2時間満喫して、ホーチミン空港へ直行し…夜中のフライトで成田空港へ朝7時35分に予定より早く帰国する事が出来ました。34～35℃の国から帰国も、10℃も違う温度差と、2時間の時差は曲者でした。成田空港から首都高を経て、川口市内に入る際、河村団長から参加お礼等の挨拶がなされ、組合前に9時30分全員無事到着する事が出来ました。今回の視察研修会に対しご協力頂いた皆様と、添乗員の足立様に、この紙面を借りてお礼を申し上げ、総務委員会を代表して記事を掲載致しました。限られた紙面にて、抜粋しておりますのでご了承下さい。

(記 総務委員 渡辺光章)

「MACHINE MATE NEWS」 発刊 500号を迎えて



総務委員長 松井 勤

昨年一年間は、何百年に一度の大地震、大津波、大型台風、そして今迄一度も経験したことのない原子力発電所爆発事故と日本列島は散々に痛めつけられました。

また経済面でも、1ドル76円、1ユーロ102円の歴史的な、円高ドル安、円高ユーロ安が続き輸出関連の企業はもちろん、その他の産業も打撃を受けた年でもありました。

震災復興、原発爆発事故処理及び円高対策にしても、迅速な対処が出来ない政府に期待がもてずいらだっていますが、被災者は復旧復興に全力で取り組み、我々製造業も円高コスト安に対し、知恵を出し全力で仕事に取り組んでいます。

そんなあまり明るいニュースがない中、平成24年1月に「MACHINE MATE NEWS」500号が発刊されることは、大変明るいニュースです。

「MACHINE MATE NEWS」は、昭和37年1月に「川機協ニュース」として、第1号が発刊されて以来50年目の平成24年1月で500号を発刊することとなりました。この間「MACHINE MATE NEWS」の執筆に携われた方々、又発刊に御尽力された方々に心より厚くお礼申し上げます。

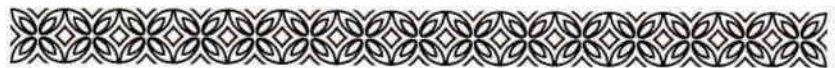
当初「川機協ニュース」として創刊しましたが現在は「MACHINE MATE NEWS」と名称も変り、又表紙、体裁、サイズも今様に何回も変りました。もちろん記事もその時代、時代の出来事や企画に合った内容のものに変化しつつ発刊して現在に至っております。

組合員数の減少で従来からの総代会制を廃止して総会制に移行するなど、組合運営も大変な時代になろうとしています。組合員数の減少により委員会の数も減り、現在は総務委員会と業務委員会の2委員会になりました。我々総務委員会の主な事業は「MACHINE MATE NEWS」の発刊、組合事業の企画運営、組合員新規加入推進です。その中で最大の事業であります、「MACHINE MATE NEWS」の発刊は是非とも今後も続けて行きたい事業です。

総務委員会のメンバーのご協力のもとこれからも、ニュースの内容や新しい企画を考え「MACHINE MATE NEWS」をさらに号を重ね、600号へと未永く発刊し続けて行きます。

これからも組合員皆様の御協力と御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。

今年は辰年です。組合員の皆の景気も、天高く上昇する龍のように、上昇景気になりますよう、御祈念申し上げまして、「MACHINE MATE NEWS」発刊500号記念のご挨拶とさせていただきます。



1. 組合員の異動等

- (1) 代表者変更 カネコ鋼管鋼業㈱ 金子光男氏 → 石元正義氏
 株梅田鉄工所 梅田政雄氏 → 梅田明宏氏
- (2) 訃報 ●佐藤良江様 北2部会所属 サトー鋼材㈱ 佐藤義晴社長のご母堂 12/8 ご逝去 享年79歳

2. 会議報告

- (1) 常任理事会 (12月6日(火) 10:30)
 1) 新春祝賀会
 2) 平成24年度事業計画
- (2) 部会長会議 (12月6日(火) 12:00)
 1) 各委員会報告・連絡事項・情報意見交換
- (3) 正副理事長会議 (12月19日(月) 11:00)
- (4) 総務委員会 (12月21日(水) 18:30)
 1) MACHINE MATE NEWS
 2) 新規組合加入推進
- (5) 業務委員会 (12月26日(月) 18:00)
 1) 共同購買事業
 2) 損害保険代理店業務

3. KKB NEWS

第514回例会 12月13日(火) 川口SL 17名

		T	H	N	NH
優勝	吉田 照司	610	20	630	-25
準優勝	松尾 雅敏	579	35	614	10
3位	須賀 伸二	518	65	583	50
4位	矢吹 邦章	443	135	578	130
5位	今井 励	559	15	574	10
H・S	吉田照司	610	H・G	小嶋 淳	233

☺ 優勝者ひとこと

先月は2ピン差で2位と悔しい思いをし、家を出る際「優勝してくる」と家族に約束！本当に優勝できた事に本人が一番驚いています。

同レーンのメンバーの今井さん、大竹さん、遠藤さん3人に励まされ、最後までがんばった結果、夢だった600upのスコアとおまけ付！

今度はまだ取った事の無いHGを目指してがんばります！

4. 企業研究会 11月例会

去る11月9日(水)組合会館3階にて、ナレッジワーク社社長の森戸祐一氏を講師にお迎えし「Facebookとは」と題し、Facebookの基本についてご講演頂きました。

本当に初歩の利用開始からの説明から始まり、他のSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とFacebookの違いや、Facebookをアソビでは無くビジネスで活用する為のお話しをして頂き、たいへん分かりやすく学ぶ事が出来ました。

今までお付き合いの無い人達との繋がりを持つのがFacebookの目的で、ビジネスで活用するには目的達成までの人脈を明確にイメージし、強く意志を持って築き上げて行くのが大切な事であり、中小企業の経営者は大いに活用して、新しい仕事の獲得に役立てるべきであると強く説かれていました。

これからSNSを始める人も、今まで漫然とSNSを利用していた人も、とても刺激を受けて良いお話しを聞いたのではないかと思います。

(記: 知識向上委員会 片岡 茂)



第51期通常総会

12月3日（土）、浦和ロイヤルパインズホテルにて総会ならびにパーティーが開催されました。通常の研究会のイベントではなかなか味わう事の出来ないピリッとした雰囲気の中、石川副委員長の落ち着いた司会で通常総会が始まります。

最初の挨拶では、研究会を『入りたいと思う雰囲気に』『他人に誇れる会に』して欲しいという田中代表の願いが皆さんに伝えられました。議長には今回の卒業者の一人である遠藤さんが選出され、今回の総会では大きな議案の幹事会制化を始め、全議案が各会員の『異議なし』の発声で滞りなく決まります。引き続き、各来賓の方々に祝辞を賜り、総会の閉会となりました。

そして鎌倉委員長の司会でパーティーが始まります。最初に田中代表の呼びかけで去る3月11日の東日本大震災の犠牲者の方々へ黙祷を捧げました。アトラクションでもテーマとして取り上げさせて頂きましたが、絶対に忘れられない、忘れてはいけない事だと思います。今回たまたま東北で起こってしまっただけで、私たちに降りかかっていたかもしれないですし、またいつ降りかかるかもわからないのです。今回の事をどれだけ受け止め、考える事が出来たかで、私たちの未来も変わってくるのではないのでしょうか。

伊藤新代表幹事の挨拶では、研究会への次のような熱い想いが伝えられました。『8年間の委員会制度の雰囲気あってこそその幹事会制度化』『会員の負担軽減』他にもこの会の原点は『助け合う』事であるとおっしゃっていました。確かに何かの目的の為に協力しあう事が、自分を含め関わった人たちの成長に繋がっていき、それがこの会の存在意義のひとつであるのだと思いました。



(田中代表あいさつ)

来賓・OBの方々の紹介が終わり、喉が乾いてしまった(?)司会の鎌倉委員長は来賓の方々の祝辞を飛ばして乾杯に移ろうとしてしまう一幕がありました。しかし、そこで起こった笑いにより、雰囲気が和らいだパーティーは一気に盛り上がりを見せます。河村理事長お墨付きのお肉に舌鼓を打ち、お酒も進んできたところで新役員紹介・記念品贈呈・アトラクションと進んでいき、続いて遠藤さん・増田さんの卒業証書授与となりました。緊張した面持ちで賞状を受け取る遠藤さん。涙ながらに21年間の想いを語る増田さん。研究会は卒業されましたが、今後もご活躍される事を心よりお祈り申し上げます。そして会歌の斉唱、手締めの後パーティーの閉会となりました。

今回、この会での皆様の言葉、表情、想い、活気を目の当たりにし、改めて皆様がこの会を必要とし、大切に思い、何より楽しんでいるということを感じました。最後になりましたが、ご参加頂いた多くの来賓の方々、そしてOBの方々に御礼申し上げます。

(記 地域活動委員会 白根達也)

企業研究会第50期・51期を終えて

第50期・51期代表 田中隆行

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様方には平素より企業研究会の諸活動におきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第50期～第51期を終えて振り返ると本当に沢山の事があった二年間でした。前任、江口氏より次期代表を受けてくれないか？とオファーがあったのが百年に一度と言われているリーマンショック直後の景気の落ち込みが大変厳しい状況でした。正直相当迷いましたが…会社の理解や後押しはもちろんですが自分には研究会の沢山の仲間達がいました。そして暖かく見守ってくれるOBの先輩達も数多くいました。そういう周囲の沢山の皆さんのサポートがありましたので代表という大役を引き受ける事に決断しました。

二年間の揚げてきたスローガンは「絆」という言葉でした。パソコンやインターネットが普及し世の中が飛躍的に便利になっている現代。反面、人間関係が希薄に感じる場面が多くあります。そんな時代だからこそ人と人の繋がりや結び付きを深め「絆」を大切にという思いを込めてです。

第50期では創立50周年記念式典がありました。研究会の半世紀という大きな節目の年でしたので大変厳しい景気でしたが盛大に開催致しました。改めて、諸先輩が一つ一つ築き上げ50年続いてきた(研究会の)歴史と伝統と重みを感じました。冒頭挨拶ではプレッシャーを感じ何百回と練習は重ねたもののいざ壇上に上がり空気感や緊張感は今まで味わった事の無い貴重な経験となりました。そして第51期では、何と言っても3月11日に起きました東日本大震災により日本中に衝撃と激震が走りました。大地震・大津波・原発事故と日本が今まで経験した事のないような未曾有の大震災でした。当然、研究会の活動にも影響が出ました。例会の中止など活動を自粛しました。我々研究会に今何ができるのか？今何をすべきか？世の中が混沌とした状況で緊急召集し真剣に会員同士語り合いメールなどで情報を交換も頻繁に行いました。震災後、色々な不安を抱えている状況の中、研究会で繋がっている事により救われた方は自分を含め沢山の仲間ではないかと思われれます。他にもここでは書き切れない程沢山の様々な出来事がありました。会を運営していく中、色々な場面で「絆」を感じとる事もできました。そして会の代表として何とか乗り越えられたのは周囲の支えて下さった皆様のお力添えのお陰です。来年、研究会は8年間続いてきた委員会制度から幹事会制度に変わります。伊藤新代表を中心に会が結束し活気あるより良い研究会になるよう頑張ってください。後輩達に伝えるメッセージとしては、研究会は川口の機械屋の若い人達の集まりです。製造業としてのプライドを持ち、失敗を恐れず明るく元気に楽しくポジティブに様々な事を経験し勉強しチャレンジして欲しいと思います。二年間、色々な皆様方に支えられて代表という大役を無事終える事ができました。お世話になりました。そしてありがとうございました。最後に、皆様のご健勝並びにご多幸を祈念申し上げます。今後とも変わらぬ企業研究会への一層のご理解、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。新年のご挨拶に代えさせていただきます。

第52期代表幹事に就任して

伊藤正樹

新年明けましておめでとうございます。組合の皆様方には日頃より企業研究会に対し格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。そして創刊500号を迎えたマシンメイトニュースにも重ねて御礼申し上げます。記念すべき号に記事が掲載されることをとても嬉しく感じています。

昨年末に行われました総会にて、会則の改訂と新役員の承認を得まして第52期の代表幹事に就任しました。超高度情報化社会がもたらす経済危機や巨大な自然災害など、わずかな時間で世の中が豹変してしまうような現況の中、歴史ある企業研究会の代表幹事を務めることはとても難しいことだと考えていますが、このようなタイミングで大役が回ってきたことも我々の世代が乗り越えなければならないハードルであると「前向き」にとらえて、頼もしい幹事と一丸となって会運営をしていきたいと考えています。

運営については、第44期から8年間続きました委員会制から新たに3班編成の幹事会制となりました。改訂を行った最大の目的は、多くの会員に広がってしまった負担を軽減して会議の回数を減らし効率よく運営することです。簡単なことではありませんし幹事の負担は大きいですが、8年間で培ってきた全員参加の意識がある状態からのスタートですので、昔の幹事会制にそっくり戻るものではないと思っています。会員の意見や要望を取り入れ、OB会とも連動しながらこの時代にあった運営ができるように会の先頭に立って頑張らまいます。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

終わりに、今年平成24年は辰年です。この干支からは想像上の動物である「竜(りゅう)」をイメージしがちですが、「辰」の字は「振るう」という意味で、陽気が動いて草木が伸長する状態を現すそうです。長引く不況から脱して穏やかに景気が回復し、経済が発展していくことを祈念して新年の挨拶といたします。

第52期 役員紹介



代表幹事
伊藤正樹

(株)ニット 営業部長



副代表幹事
中山一洋

(有)建設工業工作所



監査
江口靖史

江口工業(株) 常務



1班幹事
高德尚慶

(株)東武鉄工所 社長



2班幹事
坂本直之

(有)坂本製作所 生産技術



3班幹事
永瀬竜一郎

(株)永瀬工場 営業



(有)旭鉄工所

(南1部会) 川口市幸町1-13-15
TEL 048-251-4781

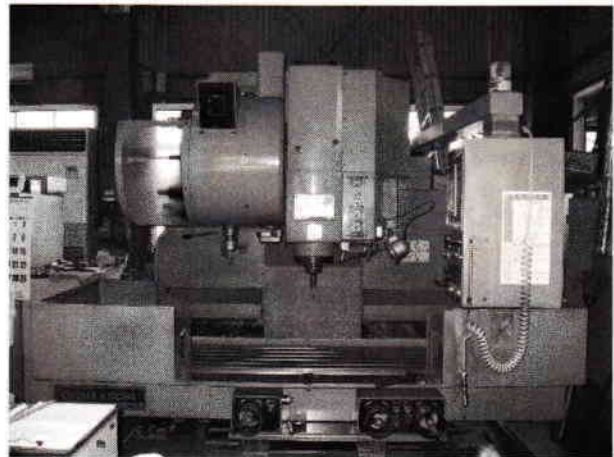


佐藤正彦社長

今回の訪問先は南1部会の(有)旭鉄工所様です。

気象庁が木枯らし1号を発表した10月26日におじゃま致しました。自ら機械を操作されている社長、佐藤正彦様はやはり現場にいらっしやいました。筆者と同じ部会なので、お顔はよく存じておりますが、いつもの人なつつこい笑顔で迎えて頂きました。挨拶もそこそこに、事務所でお話しを伺うことと致しました。旭鉄工所様の創業は昭和9年、この地で祖父佐藤信孝様が建設機械(クレーン)等の製造販売業として興しました。お父上を経て、正彦様で3代目との事です。現在は主に射出成型機、繊維機械に使われる、鋳込みヒーターの加工をなさっているとの事です。御苦勞なさっていることをお伺い致しますと、やはり、親会社よりの値下げ要請を上げられ、さらに輸出関連の製品である為、昨今の円高状況は少なからず影響があるとの事でした。現在の設備はマシニングセンターが2台、NC旋盤と汎用旋盤が1台づつとの事、経営方針としては、常に最高品質を求める、納期を守る、前向きな思考をするの3点を挙げて下さいました。

今までの人生で印象に残る思い出をお伺いしたところ、昭和50年、お父様の死去にともない、会社を継続するかどうかを思い悩んだ事だそうです。折りしも景気に逆風が吹く中、回りからは随分反対意見もあったそうですが、持ち前のバイタリティで何とか乗りきったとの事です。バブル時代の事をお伺いしたところ、あにはからずや、そんなに浮かれる事は無かったそうです。地道な努力を信条とする社長様のお人柄がうかがえます。



(マシニングセンター 5#)

続きまして、趣味の話に移りますが、筆者の知るところ、ボウリングの腕はプロ並とか、KKBの会長としても御活躍なさいました。他にはと聞くと、ちょっと照れたように、「お酒かな」と答えて頂きました。筆者も嫌いな方ではないので、話が一段と盛り上がりましたが、お互い歳には勝てなく、酒量が落ちたなーということで、話は落ち着きました。御家族の話をお伺い致しましたところサプライズがありました。お子様はお嬢様がお二人なのですが、このお二人が何とあの宝塚に在籍していたとの事。お写真を拝見させて頂きましたが、お二人とも背がスラッとして、大変お美しい方でした。因みに、長女が水城レナ、次女が天翔ゆうりという芸名だそうです。その美しいお嬢様のお母様であられる奥様のことも、色々お伺い致しましたが、字数の関係で書ききれません。

最後に機械組合の事をお伺い致しましたところ、部会長を8年もお務めになられて、少々草臥れたとのこと。お疲れ様でした。今後の益々の御隆盛をお祈り致しまして、取材をおえました。ありがとうございました。

(記 総務委員 安達英一)

INFORMATION

技能振興シンポジウム

川口市では、市内産業の活性化と技術・技能者の地位向上及び地域における技能尊重気運の醸成を目的に標記シンポジウムを開催します。

1. 日 時 1月20日(金) 午後2時開始(午後1時30分開場・午後4時終了予定)
2. 会 場 埼玉県立川口高等技術専門校(川口市青木4-4-22)
3. テーマ 「川口に息づく職人～機械加工の魅力とさらなる工夫～」
4. 出 演 白根幸男氏(有白根機械製作所 代表取締役)
内原康雄氏(株エヌシーネットワーク 代表取締役)
若山 保氏(コーディネーター) 埼玉県立川口高等技術専門校 校長
5. 参加費 無料
6. 定 員 200人(先着順)
7. 申込み 1/19(木)までに川口市経済部労政課へお申込みください。TEL 048-258-7921

特許講座(入門!特許情報の活用方法)

川口市・知的財産総合支援センター埼玉 共催事業《知財入門講座》

情報や知識が大きな価値を生み出す時代です。その価値を保護し、最大限に活用するには、知的財産の知識が必要となっています。

今回は、ビジネスにも有効な、特許庁の「特許電子図書館(IPDL)」を使った特許情報の活用(国際特許についても、ご紹介いたします)について、実際にパソコンで体験しながら紹介いたします。是非、ご参加ください。

1. 日 時 2月10日(金) 午後1時30分～4時30分
2. 場 所 映像・情報メディアセンター メディアセブン
川口市川口1-1-1 キュポ・ラ本館棟7F(川口駅東口)
3. テーマ ◎「特許制度の基礎知識～アイデアを特許にする～」
◎「特許電子図書館(IPDL)の活用」
4. 講 師 知的財産総合支援センター埼玉 特許情報アドバイザー 小林 公氏
5. 対象者 ①市内在住・在勤者及び中小企業者等 ②インターネットの使用経験がある方で、キーボード入力で簡単な文書作成が出来る方
6. 参加費 無料
7. 定 員 15名(先着順)
8. 申込先 川口市経済部商工課 商工業振興係 TEL 048-258-1110 内線2435・2432

貿易実務講座(入門編)受講者募集

(財)川口産業振興公社では、これから貿易業務に携わる方や貿易実務の基礎知識を身につけたい方を対象に貿易実務講座(入門編)を開催します。

1. 日 程 2月3日(金)、7日(火)、10日(金)、14日(火)、
17日(金)、21日(火)、24日(金)、28日(火) 全8回
2. 時 間 午後6時30分～8時30分
3. 場 所 埼玉県産業技術総合センター 7階 研修室1
(川口市上青木3-12-18 SKIPシティ内)
4. 内 容 貿易実務の講義(貿易の基本～引き合い～契約～船積み～決済等)
貿易実務の演習(輸出入業務のシミュレーション、英文書類作成等)
5. 対 象 川口市内在住または在勤の方で、①これから貿易業務に携わる方 ②貿易実務の基礎知識を身につけたい方
6. 定 員 25人(先着順)
7. 受講料 5,000円(全8回)
8. 申込み 1/10(火)から電話にて予約受付
9. 問合せ (財)川口産業振興公社 TE 048-263-1110

「機械工業月間動向報告」

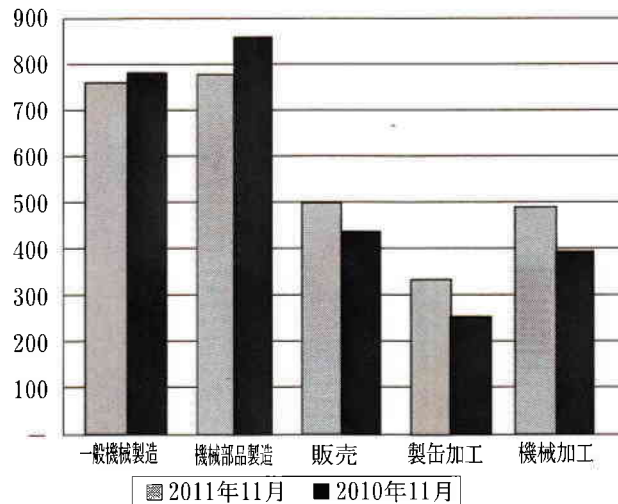
平成23年11月生産状況集計

(単位：千円)

No.	業種別	23年11月	前年同月	A/B
		A. 売上高	B. 売上高	
1	一般機械製造	765,864	773,759	99.0%
2	機械部品製造	772,937	848,564	91.1%
3	販売	507,052	435,608	116.4%
4	製缶加工	330,794	243,575	135.8%
5	機械加工	484,338	386,535	125.3%
合計		2,860,985	2,688,041	106.4%

[対象企業 159社]

1. 従業員数 1,959名 前年対比 106.3%
2. 受注残 1.1ヵ月 3. 輸出高 5,647千円



編集後記

新しい年を迎え読者の皆様も新たな気持ちでおられると思います。この1月でマシンメイトニュースもめでたく500号になりました。記念すべき月であり良く500号まで続いたと思います。今後もずっと継続出来る事を祈ります。

さて、今年は辰（竜）年です。動物にあてはめると竜（龍）で十二支で唯一想像上の動物です。昨年は東日本大震災で大きな被害があり、いまだ復興のメドが立っておりません。どの様な街作りになるのでしょうか。そして歴史上最大の円高、追い討ちをかけるタイの洪水、その円高による国内製造業の空洞化が心配されます。今年の干支、龍の様に雲にのって昇天する竜の様に景気も上がってほしいものです。今年も愛読よろしくお願ひします。

(白根幸男)

MACHINE MATE NEWS

No.500

発刊 平成24年1月1日

印刷 ACEPRINT

編集・発行／川口機械工業協同組合総務委員会

〒332-0012 川口市本町3-3-6

TEL(048)224-8111 FAX(048)224-8116

<http://www.machinemate.or.jp/>

E-mail:info@machinemate.or.jp

定価 1部 300円 年間購読料 3,000円

組合員様限定 **トラック** 買取&卸販売

買取

軽自動車～中型・大型・大型
特殊車まで全ての商用車

ディーラー下取価格+5～10万円で買取
高価現金買取り ★出張査定も致します

卸販売

新車～中古車まで
全 国 FCトラック市 在庫2,500台

◆お気軽にお問合せ下さい

トラック市(株)サンユー 担当：渡辺

〒333-0846 川口市南前川2-12-6 携帯 090-3331-7781

TEL 048-268-5622 FAX 048-261-5722

シャッター・修理・新設・移動 工場・倉庫・車庫・(見積無料)

文化シャッター(株) 総代理店
県知事許可(般-10) 第54169号
車庫・工場/リフォーム承ります

有限会社オークラ産業

川口市大字赤山1431-1

電話 048-298-0096

携帯 090-3103-9219 担当・片倉

川口機械工業協同組合 賛助会員